

## 2021 年日化協 L R I 研究報告会の開催について

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：森川 宏平（昭和電工(株)代表取締役社長）、以下「日化協」）は、8 月 20 日（金）に「2021 年日化協 LRI 研究報告会」をウェブ上で開催いたします。

LRI（Long-range Research Initiative：長期自主研究支援活動）は、人の健康や環境に及ぼす化学物質の影響に関する研究を長期的に支援する国際的な取り組みです。国際化学工業協会協議会（ICCA）に加盟する日米欧の化学工業会の協力の下で運営されており、わが国では日化協が推進しています。本報告会は、LRI の活動を広く紹介するとともに、社会のニーズや化学業界が抱える喫緊の課題を共有する場として毎年開催しているものです。今回は、LRI 第 8 期（2020 年度）で終了した研究課題の成果および現在採択中の LRI 第 9 期（2021 年度）の研究課題の進捗状況を報告します。また、日化協 LRI 賞※受賞者による講演や「化学物質管理に関わる人材の育成」と題するシンポジウムも行います。

※日化協 LRI 賞：“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関して優れた研究実績をあげた研究者を支援するために、日本毒性学会および日本動物実験代替法学会の協力の下で授与する賞。

### 【開催概要】

1. 日時：2021 年 8 月 20 日（金） 9:20～17:00
2. 開催方式：ウェブ開催
3. 申込方法：日化協 LRI サイト（<https://www.j-lri.org/>）からお申し込みください。
4. 申込期間：7 月 19 日（月）～8 月 20 日（金）
5. 参加費：無料（事前登録が必要） ※参加人数には制限なし。
6. プログラム：以下のとおり（詳細は別紙参照）
  - ・第 8 期（2020 年度）で終了した LRI 研究課題の報告（3 演題）
  - ・日化協 LRI 賞受賞講演（2 演題）
  - ・第 9 期（2021 年度）で採択中の LRI 研究課題の進捗報告（12 演題）
  - ・シンポジウム「化学物質管理に関わる人材の育成」

≪本件に関するお問い合わせ先≫

（一般社団法人）日本化学工業協会 LRI 事務局 須方 TEL:03-3297-2575

## 2021年 日化協 LRI 研究報告会プログラム

日時：2021年8月20日(金) 9:20~17:00

会場：Web 開催

■ プログラム(当日までに一部演題名を変更する可能性があります。)

敬称略

午前の部	
9:20-9:25	開会挨拶 進藤 秀夫 (一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事)
9:25-10:55	第8期 終了した研究課題の報告 座長：篠原 基輝 (AGC 株式会社)
	PNEC 導出における種の感受性分布の役割とその簡易推定方法の探索 代表研究者 加茂 将史 (産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員)
	マイクロプラスチックの存在下、非存在下における魚類への生物蓄積と生物間濃縮に関する研究 代表研究者 鎌迫 典久 (愛媛大学大学院 農学研究科 教授)
	ヒト幹細胞試験による迅速・正確・低コストの化学物質ハザードAI評価法の開発 代表研究者 藤淵 航 (京都大学 iPS 細胞研究所 教授) 発表者 山根 順子 (京都大学 iPS 細胞研究所 特定研究員)
10:55-11:00	(休憩)
11:00-11:50	LRI 賞 受賞者講演 座長：福井 浩子 (昭和電工株式会社)
	動物を用いない皮膚感作性評価法「ADRA」の開発および OECD テストガイドライン化 【日本動物実験代替法学会 第5回 LRI 賞】 山本 裕介 (富士フイルム株式会社 ES 推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター)
	悪性中皮腫発症に関わる石綿曝露が及ぼす免疫抑制影響 【日本毒性学会 第7回 LRI 賞】 西村 泰光 (川崎医科大学 衛生学 准教授)
11:50-12:00	事務連絡：第9期研究課題進捗報告について 日化協 LRI 事務局
12:00-13:00	(休憩)
午後の部	
13:00-14:40	第9期 採択中の研究課題の進捗報告
Breakout session 1 (代替法) 座長：宮本 太樹 (住友化学株式会社)、片岡 伸介 (ライオン株式会社)	
(13:00-13:20)	再構築皮膚モデルを用いた <i>in vitro</i> 皮膚感作性試験法 EpiSensA (Epidermal Sensitization Assay) の多施設間でのバリデーション研究 代表研究者 水町 秀之 (花王株式会社 安全性科学研究所)
(13:20-13:40)	ヒト T 細胞の活性化・分化誘導 (Key event 4) を指標に感作性・アレルギー誘発性を評価する新規代替法の開発 代表研究者 善本 隆之 (東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御研究部門 教授)
(13:40-14:00)	肺胞マクロファージの活性化機構を基盤とした炎症性微粒子の評価法の開発 代表研究者 黒田 悦史 (兵庫医科大学 免疫学講座 主任教授)
(14:00-14:20)	化学物質の皮膚暴露後の <i>in silico</i> 皮膚吸収性予測法の確立 代表研究者 藤堂 浩明 (城西大学 薬学部 准教授)

Breakout session 2 (マイクロプラスチック) 座長: 大江 正剛 (東ソー株式会社)、堀江 宣行 (住友化学株式会社)	
(13:00-13:20)	マイクロプラスチック生成機構の解明 代表研究者 黒田 真一 (群馬大学大学院 理工学府 教授)
(13:20-13:40)	劣化マイクロプラスチック由来吸着化学物質の体内動態モデルの構築と影響評価 代表研究者 大嶋 雄治 (九州大学大学院 農学研究院 教授)
(13:40-14:00)	マイクロプラスチックの環境リスク評価のための概念モデルの構築と東京湾での試行的リスク評価 代表研究者 内藤 航 (産業技術総合研究所 安全科学研究部門 研究グループ長)
Breakout session 3 (発達神経毒性) 座長: 新野 竜大 (株式会社三菱ケミカルリサーチ)、齋藤 光芳 (三井化学株式会社)	
(13:00-13:20)	学習記憶障害をもたらすグルタミン酸受容体結合化合物の発達神経毒性・神経毒性を評価するインビトロ試験法の構築 代表研究者 關野 祐子 (東京大学大学院 薬学系研究科 特任教授)
(13:20-13:40)	発達神経毒性ポテンシャルのスクリーニングとしての短期 <i>in vivo</i> 甲状腺ホルモン影響評価法の開発 代表研究者 山田 智也 (住友化学株式会社 生物環境科学研究所 フェロー) 発表者 須藤 英典 (住友化学株式会社 生物環境科学研究所 主任研究員)
(13:40-14:00)	発達期神経評価指標を用いた化学物質毒性評価法の確立 代表研究者 古武 弥一郎 (広島大学大学院 医系科学研究科 教授)
(14:00-14:20)	発達神経毒性のAOP解明に資する神経炎症評価系の開発 代表研究者 西村 有平 (三重大学大学院 医学系研究科 教授)
(14:20-14:40)	化学物質誘導性甲状腺機能低下症の発達神経毒性評価に資する Adverse Outcome Pathway の構築 代表研究者 中西 剛 (岐阜薬科大学 衛生学研究室 教授)
14:40-14:50	(休憩)
14:50-16:30	シンポジウム : テーマ「化学物質管理に関わる人材の育成」 座長: 坂田 信以 (一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事)
	「化学物質管理に関わる人材育成について考える ～経済産業省の取組のご紹介～」 浜口 千絵 (経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 化学物質リスク評価企画官)
	「職場における化学物質規制の見直しについて」 樋口 政純 (厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 課長補佐)
	「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)を通じた人材育成について」 田中 桜 (環境省 大臣官房 環境保健部 環境リスク評価室 室長)
	「環境安全における思考力・実践力を身につけた人材育成」 辻 佳子 (東京大学 環境安全研究センター センター長 教授)
	「CERIの化学物質管理支援 : 化学物質のリスク評価を中心に」 片桐 律子 (一般財団法人 化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所 評価事業部評価第一課 副長)
16:30-16:50	総合討論 ファシリテータ: 坂田 信以 (一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事)
16:50-17:00	閉会挨拶 安井 至 (LRI 顧問会議 議長) (株式会社バックキャストテクノロジー総合研究所 エグゼクティブフェロー)